

19. 仁徳天皇陵（にんとくてんのうりょう）古墳模型

仁徳天皇陵古墳は、大阪府堺市にある日本一大きな古墳よ。前方後円墳という丸と四角がつながった形をしているの。古墳の長さは486m、濠（ほり）の一番外側まで含めると850mを超えます。面積で比べると世界で一番大きなお墓なの。

機械がない時代だから、完成するまでに15年8ヶ月もかかったと考えられていて、古墳をつくった人の延べ人数は、なんと680万7千人と計算されているのよ。

この模型は、仁徳天皇陵古墳が造られた当時の姿を再現しています。この模型には、たくさんの働いている人がいるのがわかるかしら。人間をちょうど1cmの大きさに作ってあるから、人間の大きさと比べると、古墳の大きさがよくわかります。仁徳陵古墳の周りには、小さな古墳が取り囲むように並んでいるの。この小さな古墳には王につかえた人たちが葬られたと考えられているのよ。

ほかには、大王のすまいや埴輪をつくった工房も復元しているの。よくみると古墳づくりをなまけて寝転んでいる人もいるわね。古墳づくりにはどんな仕事があるのか、じっくり観察してみてね。

ここでクイズです。仁徳天皇陵古墳には、一体どれくらいの埴輪が並んでいるのでしょうか。正解を聞きたい人は69番を押してください。

(69. クイズの答え)

仁徳天皇陵古墳には3万本もの埴輪が並んでいたと考えられています。巨大な古墳なので、とてもたくさんの埴輪が必要だったことがわかります。